

苫前町ゼロカーボンシティ宣言

Tomamae Zero-Carbon City Declaration

近年、世界中で異常気象が発生し、日本各地においても、猛暑や豪雨による自然災害が頻発するなど、気候変動の影響が顕在化しています。

今後、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの増加による地球温暖化の進行に伴い、気候変動のリスクはさらに高まることが予測されています。こうしたリスクを低減させるためには、私たち一人ひとりが当事者としての危機感を持つことが非常に大切です。

こうした背景から、本町では風力発電による再生可能エネルギー先駆けの地として、先人より受け継がれた素晴らしい財産と限りない資源を、未来を担う子どもたちやその先の世代へ安心して引き継ぐことが出来るよう、「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」をさらに進展させ、脱炭素社会への移行に向けた姿勢を示すための条例を制定するとともに、住民、住民団体、事業者の皆様と連携し、知恵と工夫を集結させ、地球温暖化対策の取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。

令和4年1月24日

苫前町長 福 士 敦 朗